



# 学校だより

## 小田原市立橋中学校

令和7年5月20日発行 第2号  
小田原市立橋中学校  
校長 松澤 文恵

満開の桜の花に歓迎されて始まった新年度も、風薫る季節を迎えました。入学、進級した子どもたちは新しい環境の中で、毎日の生活を生き生きと送っています。

本校では、学校教育目標「自ら学び、共に育つ」の実現に向けて、教職員が一丸となって、教育活動に取り組んでいます。この目標の実現は、子どもたちが将来、社会や世界と関わり、よりよい人生、よりよい社会を創るための素地づくりだと考えています。先週実施した運動会も「自分たちの手で創りあげる」ことを目標に取り組み、とても素晴らしいものとなりました。

5月末、6月初旬には、子どもたちが楽しみにしている修学旅行、遠足も予定しています。学校では体験できない歴史や文化、自然に触れることで、豊かな心や思いやりの心を育み、集団行動や公衆マナーも学べる絶好の機会となることを期待しています。

### 自分たちの手で創りあげた運動会

5月15日(木)さわやかに晴れ上がった空のもと、子どもたちのやる気と保護者の温かい応援に支えられ、運動会を実施することができました。「1・2年生が自分たちの行動についてきてくれることがうれしい…」という3年生の声や、「来年は自分たちが…」という1・2年生の声も聞こえてきました。

3年生が全校をリードし、一人ひとりが全力を出し切って、笑顔のあふれる素敵な運動会になりました。運動会の達成感は、閉会式での全校生徒の満面の笑顔に集約されていました。

3年生が残って準備をする運動会前日、ある2年生の生徒たちから「3年生はここまで大変だったから、準備は1・2年でやればいいのに。」との声が聞かれました。この生徒たちの心の温かさもそうですが、そうさせたのは紛れもなく3年生のこれまでの努力や最上級生としての姿があったからこそです。3年生たち、本当に立派でした。

最も印象深いのは、前日に体育委員が最終確認として『橋エアロ』を練習していた時の一幕。「よかったら手が空いている人も一緒に踊りましょう！」という体育委員の声掛けに、会場にいた(仕事中の)生徒も先生も全員が、笑顔で本当に楽しそうに踊り始めたのです。体育委員が目指していた「みんなで楽しく」という運動会の目標がそのまま表れた素敵な光景でした。当日は競技、応援、係の仕事とすべてに“本気”“真剣”が感じられる熱い運動会になりました。3年生本当にありがとう！(保健体育科 鈴木)

練習ではうまくいかない時、みんなで励ましあいながら乗り越えたことが印象に残っています。当日は緊張しましたが全力で競技に挑み、達成感を味わうことができました。応援の声も力になり、チームワークの素晴らしさを実感しました。運動会を通じて、努力の大切さと仲間の支えがどれほど大きいかを学ぶことができました。(3年体育委員長)



### 橋中学校学校運営協議会のみなさま

- 富松 国雄(保護司) (敬称略)
- 北村 千波(前羽地区自治会連合会長)
- 峯尾 興(下中地区自治会連合会長)
- 山口 博(前羽地区青少年育成協議会長)
- 岸 幸雄(下中地区青少年育成協議会長)
- 椎野 純雄(同窓会長)
- 内田 佳織(主任児童委員)
- 津田 早紀(地域有識者)
- 園山 順子(PTA会長)



学校と保護者や地域の皆様とともに知恵を出し合い、意見を幅広く聞きながら、「地域とともにある学校づくり」を推進するための応援団としてご協力いただきます。



